

2021 年度（対象：2019～2020 年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 1	理念・目的
------	-------

総評	
0101	研究科（専攻）の教育研究上の目的および育成する人間像は、大学ホームページ教育研究上の目的[0101a]、研究科ホームページ[0101b]、大学案内[0101c]、学生便覧[0101d]等に記載しているが、「保健医療学専攻」については、教育研究上の目的および育成する人間像が掲載されていない[0101a][0101b]。
0101	大学の基本理念・使命に基づき、研究科の教育研究上の目的が策定されている[0101e]。
0102	研究科の目的や育成する人間像はホームページと学生便覧などで明示・周知・公表することで構成員に周知している、教職員以外の利害関係者の認知度は不明である[0101a][0101b][0101d]。 一部の専攻を除いて、研究科の目的や育成する人間像は適切に公表されていることは確認できた。大学院生や教職員への理念・目的の認識を促すために、まずは研究指導にあたる教員の協力が必要であることをヒアリングにて確認した。
長所・特色	
特になし。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項	
0101	「保健医療学専攻」については、教育研究上の目的および育成する人間像が掲載されていないことから、早急の対応が求められる【A】。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 2	内部質保証
------	-------

総評	
0203 本基準の自己点検・評価の評定が、学内のピアレビューしか受けていないことから「B」という判定を行っていることをヒアリングで確認した。学部の2学科が受審している教育評価機構によるような「第三者評価」によらずとも、本学の全学的課題や個別課題、ピアレビューによる意見、自己点検・評価結果に対する改善の取り組みが内部質保証のPDCAを回していることになる。今回の内容からでは、内部質保証のPDCAサイクルがどのように実施されているか読み取ることが難しい。今後、そうした観点から点検・評価を行うことを意識して、学部・研究科で設置されている組織である「生命健康科学部・生命健康科学研究科自己点検・評価委員会」の実質化を期待する。	
長所・特色	
特になし。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 4	教育課程・学習成果 (1)
------	---------------

総評	
0401	2019 年度に生命医科学専攻博士後期課程の 3 つのポリシーについて策定・公表され、学位にふさわしい具体的な学習成果の設定がされていることは評価できる [0401a]。
0401	研究科生命医科学専攻 3 つのポリシーの DP において、博士前期課程、博士後期課程の表記において用言止め、体言止めになっており、修正して統一することをヒアリング時に確認した [0401a]。
0402	DP・CP の内容が的確かつ明確な形で表現され、全体的にとってもわかりやすく読む者の立場になって書かれている点が評価できる。また、地域性ととも国際性を考慮しつつ現代的な医療の様々な課題に取り組む積極的な態度・姿勢を DP・CP に表現している点が大変評価でき、当該研究科の特徴がよく表れている [0401a] [0402b]。一方で、研究者としての能力育成と高度職業人としてのスキルアップの両方を掲げているが、教育課程の体系、授業科目が両者へどう対応しているかは必ずしも明確ではないため問題が明確になりにくい点が挙げられる [0402a]。
0403	教育課程のチェックのための体制が整備されている [0403a] [0403b]。 自己点検・評価の結果にもあるように、専攻内のみならず研究科専攻間で情報共有することで、より一層の研究科全体の連携が期待される。
長所・特色	
0402	DP・CP の内容が的確かつ明確に示され、中部大学生命健康科学研究科の特徴がよく表れている [0401a] [0402b]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0403	d	修士論文題目 (RH)	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 4	教育課程・学習成果 (2)
------	---------------

総評	
0404	履修単位数の上限は規定していないが、各学生に適した履修単位取得が行われるよう専攻主任によるオリエンテーションならびに指導教員による助言が行われ、単位の実質化が図られている [0404a]。
0404	作成されたシラバスは授業内容の整合性について専攻内で第三者点検を行っている [0404b]。
0405	成績評価、単位認定および学位授与について明確に示され、適切に行われている [0404a] [0404b] [0405a]。
0405	前期課程院生 (修士) は修士論文および修了研究発表を課して審査するが [0404a]、合格基準は審査を行う主査、副査に委ねており研究科として明確な基準は決めていない。全学的課題 2019 : 基準 4 にある評価項目と達成度レベル等の基準作成が望まれる。 後期課程院生 (博士) の博士論文については、博士論文提出のための明確な基準を内規および申し合わせ事項として規定している [0405a] [0405b]。
効果的な教育のための措置として、授業形態・内容・方法は多種多様であり、各教員が個々に指導するなど工夫されている一方で、一講義当たりの院生数が少ないことなどから、内容についてさらなる改善の必要性を認めており、今後の改善向上を期待する。	
長所・特色	
特になし。	
留意点	
* 各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0405	合格基準は審査を行う主査、副査に委ねており研究科として明確な基準は決められていない。全学的課題 2019 : 基準 4 は現在検討中であるが、評価項目と達成度レベル等の基準作成が求められる【A】。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 4	教育課程・学習成果 (3)
------	---------------

総評	
0406	研究科として各専攻における学習成果の把握及び評価が十分にはなされていない。2019 年度から授業後アンケートを取ることにした。その結果を分析し、授業内容の改善を図る予定とのことであり、今後の取り組みに期待したい[0406a][0407b]。
0407	研究科委員会による教育課程についての点検・評価、各専攻の委員会等での研究教育の点検[0406a]、学部 FD 委員会と共同での FD 研修会による次学期への改善活動、また、院生に対する中間発表と修了年次の大学院研究発表会での発表ならびに研究科教員による研究教育の成果検証[0407c]の各取り組みがなされ、改善・向上に向けた取り組みがなされている [0407a]。
長所・特色	
0407	2019 年度から研究科内で行われる授業について、授業後アンケートを取ることにした。結果の分析・授業の改善は今後の予定であるが、改善のための状況を把握する対応を進めていることは評価できる[0406a][0407b]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0406	大学院生の学習成果の評価や測定の指標に関する研究科としての評価方針の検討が望まれる [0406a]。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

総評
<p>0501 各媒体で公表されている記載事項に齟齬はない [0501a, 0501b]。入学志望者は事前に研究指導教授との相談が必須であることを入試要項に明記している [0501c]。</p> <p>0502 入試委員会等の体制整備において課題があるが、入学者選抜は公正に実施されている。</p> <p>0503 博士後期課程では全体として定員は充足しているが、2020 年度は入学者がなかった。博士前期課程や修士課程では年度による入学者数に差がある。一部の専攻ではその特殊性から社会人学生が大多数を占めるが、年度による差が大きい [0503a][0503b]。</p> <p>0504 入学者選抜は公正かつ適切に実施している。定員充足に関する課題は必要に応じて検討している。院生獲得のため、生命健康科学研究所と協働で研修を企画・運営している [0504b]。</p> <p>以上より、入学者の受け入れについては公表されている AP に基づき適切に実施されていることが判断される。一方で収容定員に対しては、博士前期課程において社会人学生の割合が高い看護学専攻、リハビリテーション学専攻では、年度による差が大きく社会人入学生の安定確保が課題となっている。</p>
長所・特色
<p>0501 入学志願者に対して事前に研究指導教授との面談を義務づけている [0501c]。</p> <p>0504 院生獲得のための研修を研究所と協働で企画・運営している [0504b]。</p>
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="margin-left: 100px;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="margin-left: 100px;">【B】・・・検討を要する事項</p>
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0503	b	社会人比率 (2020 年度在籍者__入試情報)	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

総評
<p>0602 研究指導可能な教員組織は整っている [0602a]。年齢的には若齢の教員が少ない傾向にある一方、女性教員は全教員の約 1/4 を占める [0602b]。</p> <p>0603 採用人事については全学的な方針に従い、昇格人事については兼任する学科の昇格基準に従い、実施している [0603a, 0603b]。</p> <p>0604 全教員が学部兼任であるため、学部 FD 研修会に参加していると同時に、年度毎の FD 活動推進計画を立てている。また、生命健康科学研究所との共催で外部研究者による講演会を開催している [0604a] [0604b] [0604c]。</p> <p>0605 年 1 回教員の自己点検・評価を実施しているが、教員間での教育研究活動に差があり、活性化が必要である [0605a]。0605(1)の自己評価「B」については、学部と同様に毎年個々の教員が自己点検・評価を実施しており、ピアレビューの結果、「A」に相当すると判断した。</p> <p>以上のことから、教員組織の編制にあたっては概ね適切に編制されており、採用・昇格についても全学および学科の基準をもって実施している。FD 活動については、学部や生命健康科学研究所と共催により、毎年 FD 活動推進計画をもって実施されていることが確認できた。一方で、教員間の研究活動の差があることから、今後、目標値をもって対応していくことをヒアリング時に確認した。</p>
長所・特色
0604 外部研究者による講演会を研究所との共催で実施している [0604b]。
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: center;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>
0605 各教員間の教育研究の活動に差が見られる点に関して、具体的な解決策が望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0603	c	2020 人事に関する手続き	○
0604	d	RB2019.11 ライフサイエンスフォーラム	○
0604	e	リハビリテーション学専攻勉強会	○
0604	f	看護 2019-2020 年度第 3 回ジョイントセミナー	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 7	学生支援
------	------

総評
<p>0702 主指導教員と副指導教員 2 名を配置し、院生の修学および生活に対する支援体制を整えている。</p> <p>0702 学生生活の支援については院生のプライバシーに配慮しつつ対応し、必要があれば専攻内で情報共有し、対策を検討している。</p> <p>0702 進路支援として一部の専攻は学科の就職委員会と同時にキャリア支援を担当している。一部の専攻は社会人が多いためキャリア支援を要することは少ない。</p> <p>0702 夏季休業中も研究に従事するためインターンシップは実施していない。</p> <p>0702 学科教員を兼任しており、学部学科のそれぞれの役割教員が中心となって、専攻ごとの学生支援を実施している。ただし、キャリア支援に対する対応が不足のため強化を進めていく。</p> <p>学生の修学および生活に関する支援については、支援体制を整えて対策を検討していることが確認できる。なお、本研究科ではインターンシップを、研究重視として現在実施をしていない状況にある。自らキャリア支援の対応の不足を懸念していることから、非社会人学生に対してはインターンシップの実施の検討も取り入れた対応が望まれる。</p>
長所・特色
特になし。
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="margin-left: 100px;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="margin-left: 100px;">【B】・・・検討を要する事項</p>
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802	年々刷新される研究手法の発展に機器・備品の整備および更新が追いついていない窮状が読み取れる。2020 年度における取組にもあるように、学部長裁量経費や設備更新費のみでは補填できない機器の更新は、研究科を横断した連携体制の構築や、専攻レベルでの外部資金獲得などに向けた取り組みなどを強化する必要がある [0802a]。
0806	自己評価は高くないが、予算の限られた中で十分点検評価を行い、設備の充実化をはかっていると判断する [0806a]。
0806	設備の更新が必要な状況の中、大学財務部、管財部と連携して 10 年以上経過した機器について更新の優先順位を決め、教育研究環境の改善に向けての点検と積極的な取り組みがなされている [0806a]。
長所・特色	
特になし。	
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 9	社会連携・社会貢献
------	-----------

総評	
0902	個々の教員の専門分野における講演会、研修会などを通じ活発な社会貢献活動が行われていることが読み取れる。また、地域住民に向けたセミナーなどを積極的に開催し、教育研究結果を適切に社会に還元しているといえる [0902a] [0902b]。
0902	COC 事業などを通じて、生命健康科学研究科の教員は社会連携・貢献を極めて自然な形で実施している。こうした地道な活動をより明示的にすることで、生命健康科学研究科の特徴がより際立つものになる [0902a] [0902b] [0902c]。
0902	COC 事業やセミナー開催等により、専門性を生かした社会貢献が積極的・意欲的に取り組まれていると評価できる [0902b]。
0902	国際学術交流プログラムとしてプラウイジャヤ大学医学部 (インドネシア) と生命健康科学部および生命健康科学研究科との部門間協定を結んでいる [0901]。
長所・特色	
0902	地域住民に向けたセミナーなどを積極的に開催し、組織および個人として教育研究結果を適切に社会に還元している [0902a] [0902b]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0902	d	プラウイジャヤ大学医学部 (インドネシア) と生命健康科学部および研究科 20210217-ALL	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2021 年度 (対象 : 2019~2020 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	生命健康科学研究科
--------	-----------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
1120	各種委員会の開催、および議事録作成に関する手続きは適切に行われている [1120a] [1120b] [1120c]。
1120	学部・研究科の教務委員会の活動がメール会議の形で定期的でなく、形式はともかく定期的な開催を目指すことを計画されている [1120c]。
1120	委員会活動は定期的に実施され、情報の共有化も図られている [1120a] [1120b] [1120c]。
長所・特色	
特になし。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管